

世界包装機構「ワールドスター2025(2024年度)」コンテストで 「ワールドスター賞」を受賞

●省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)の、ウォシュレット^{※1}包装の緩衝材「省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材」が、世界包装機構(WPO:World Packaging Organisation)主催の「ワールドスター2025」コンテストにおいて「ワールドスター賞」を受賞しました。TOTOは2000年から国内外の包装コンテストで入賞しており、「ワールドスター賞」は通算13点目の受賞となります。

ワールドスターコンテストは、世界各国で審査評価を受けた優秀作品が集う世界的に権威のあるパッケージングコンテストです。保護性・保存性、使いやすさ、環境面への配慮、地域適応性などを競いながら、優れたパッケージとその技術を普及させることを目的としています。

TOTOは、より少ない資源で高い包装品質を目指し、自社で包装設計を行っています。2030年に「持続可能な社会」と「きれいで快適・健康な暮らし」の実現を目指す、共通価値創造戦略 TOTO WILL2030の達成に寄与するため、省資源化・省力化を実現するよりよい包装を追求し続けます。

受賞パッケージについて

■省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材

「省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材」はウォシュレットの包装材に使用する緩衝材です。段ボールの最も強い部分を抽出することで省材料を、より簡単な構造にすることで省工数を実現しました。また緩衝材を波形状にし互い違いで重ねることでしなやかさと強靭さを併せ持つことができます。



※1:「ウォシュレット」はTOTOの登録商標です

省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材の特長

海外のウォシュレット普及に伴い荷役※2の機会が増え破損の可能性が大きくなります。より過酷な輸送環境にも耐えられるような緩衝材を低コストで実現するという課題がありました。

課題を解決するため段ボールの最も強い部分のみを抽出し、安定して自立するよう段ボールを目方向に4枚重ねることにより省材料、複雑な組み立てを簡単な組み立てにすることにより省工数を実現しました。さらに段ボールを複数重ねて硬くなり過ぎないように先端を波形状にして互い違いにすることで重なる段ボールを減らし意図的に潰れやすくしました。それにより初めは柔らかく受け、その後は重なる全ての段ボールでしっかり緩衝することができるようになりました。緩衝材を配置する位置、材料違い大きさ違い等により様々な展開が可能な汎用性の高い緩衝材です。

※2: 船や貨物から荷物を上げ下ろしすること



ウォシュレット アプリコット

工夫①: 段ボールの重ねる向き



段ボールの最も強い部分のみを抽出し、さらに段ボール目方向に複数並べることにより安定して自立できるようになりました。

工夫②: 段ボールを波形状に



段ボール2枚
最初に潰れて
ソフトに緩衝

段ボール4枚
しっかり支えて
直打ちを防ぐ

4枚のうち、先端の2枚を波形状にして互い違いに重ねることで、重なる段ボールを減らし意図的に潰れやすくしました。それにより初めに衝撃が加わる先端の2枚では製品を柔らかく受け、その後は重なる4枚全ての段ボールでしっかり緩衝することができます。

共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適・健康



環境



人とのつながり



「社会的価値・環境価値」と「経済価値」を同時に実現する共通価値創造戦略 TOTO WILL2030 では、「きれいと快適・健康」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」としてサステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」にも貢献していきます。

<https://www.toto.com/en/corporate/>